

中期計画書

2021(令和3)年度～2023(令和5)年度

2021(令和3)年3月



公益社団法人

佐倉市シルバー人材センター

目 次	ページ
『はじめに』 -----	<u>2</u>
基本計画と具体的取り組み	
1 就業機会の拡充 -----	<u>3</u>
2 会員の拡大 -----	<u>6</u>
3 新たな事業への挑戦 -----	<u>8</u>
4 PR 活動の充実と組織の活性化 -----	<u>9</u>
5 安全・衛生管理の徹底と適正就業の推進 -----	<u>12</u>
6 財務基盤の強化 -----	<u>13</u>
用語の解説 -----	15

参考資料（巻末）

1. 佐倉市の年齢別人口分布 -----	17
2. 佐倉市の人口推移 -----	18
3. 地区別 人口推移 -----	18
4. 会員数の推移 -----	19
5. 受注金額（公共・民間）の推移 -----	19
6. 地区別人口 -----	20
7. 地区別 会員数・粗入会率 -----	20
8. 佐倉市 年齢別人口 -----	21
9. 年齢別 会員数 -----	21
10. 受注金額・件数の推移 -----	22
11. 就業人員・年間就業率の推移 -----	22
12. 傷害・賠償事故発生件数の推移 -----	23
13. 傷害・賠償事故の内容 -----	23

※参考資料中、佐倉市の人口データは佐倉市のホームページ『人口』からの抜粋です。

『 は じ め に 』

佐倉市シルバー人材センターは、2012(平成24)年4月に公益社団法人に移行後、少子高齢化の急速な進展による経済社会の変化に対応するための基本的な運営方針を定めるため、2016(平成28)年3月に中期5か年計画を策定して、事業運営を進めてきました。

2017(平成29)年度には福祉有償運送サービス事業を新規事業として立ち上げ、訪問介護事業所の拡充・拡大、家事支援など生活支援事業を推進しました。2019(令和元)年度には、消費税率の改定に伴う顧客単価の見直しを行い、財政基盤の安定確保を図るとともに、基本的課題である会員の拡充と就業機会の確保・拡大をめざし、年度末における会員数は1,166人となり、女性会員比率が30%に到達、新たに女性部会が設置されるなど女性会員の活躍推進の取り組みが進展しました。また契約金額に占める企業からの受注実績の割合が全体の50%近くとなるなど、会員拡充と就業機会確保の課題を前進させることができました。

このことは、会員・事務局職員・理事会が一体となって目標に向けた取り組みの結果であるとともに、市民や企業の皆様、佐倉市や関係団体のご支援・ご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

今日、本格的な人口減少が進む中で、シルバー人材センターにおいて高齢者の活躍の場を広げ、人手不足分野における就業機会の開拓や、高齢者世帯の生活支援、子育て支援・家事援助サービス、空き家管理などの取り組みを強化する国の方針が示されており、働く意欲のある高齢者が生きがいを持って活動できるよう、あらゆる就労の機会を開拓し提供できるセンターの役割をさらに発揮していくことが求められています。

そのために、前中期計画の終了を受け、新たな中期計画を策定しました。この計画は、2021(令和3)年度から2023(令和5)年度にわたる、今後3年間の当センターの指針となる6項目の基本計画と実際に取り組むべき施策を定めたもので、2020(令和2)年度に実施した会員アンケートに示された会員の皆さんの意向をも踏まえ、課題を整理し、幅広く数値目標を設定しました。

計画の期間は、年度ごとの数値目標がより現実的な設定となるよう3年間としました。また、PDCAサイクルによる施策の達成度の点検・評価を行い、必要な見直しを図っていくこととしています。

すべての会員と顧客の皆様の満足度アップを念頭に、魅力ある佐倉市シルバー人材センターをめざして、事業運営に取り組んでまいりますので、関係の皆様の一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

2021(令和3)年3月

公益社団法人 佐倉市シルバー人材センター
会長 田中 千俊

基本計画と具体的取り組み

1 就業機会の拡充

会員に対する就業機会の拡充を、当センターの重要課題として位置づけ積極的に取り組んでいきます。

(1) 就業開拓の強化

- ① 民間企業へのアプローチをさらに強化し、新たな事業所・新たな職種を含め新規開拓分野などに積極的に取り組んでいきます。

[具体的取り組み]

- ・ 役職員を先頭に、組織の総力を挙げてアプローチの強化に努めます。

- ・ 新事業所、新職種等の新規開拓先を幅広く対象とし、継続して行います。また、具体的対象として、福祉事業所、女性会員向け事務系などを考慮していきます。



- ・ センターのPRポスターを作成し、自治会掲示板やスーパー等の店頭への掲載をめざします。

- ・ 企業向け、公共機関向けの新たなパンフレットを作成・活用してセンターのPRおよび潜在能力をアピールしていきます。

- ② 市役所・商工会議所・社会福祉協議会等の公的機関との情報交換や就業ニーズの収集など今まで以上に連携を強化していきます。



[具体的取り組み]

- ・ あらゆる機会をとらえ指定管理者入札に挑戦し、選定されなかった場合でも指定管理者との提携をめざします。

- ・ 市役所との人的ネットワークを強化し、就業機会の拡充をめざします。

- ・ 佐倉市公式ウェブサイト【トップ⇒暮らし⇒暮らしの場面⇒就職・退職⇒就業・労働に関する各種機関の紹介】欄へのセンターの掲載を要請し、センターの認知度向上を図ります。



- ③ 就業開拓を強化するとともに、専担者を配置するなどして、就労相談窓口を活用したキメの細かい就労相談を行っていきます。また具体的な事案について、適切で有効なマッチングを行っていくなど体制の強化にも努めていきます。

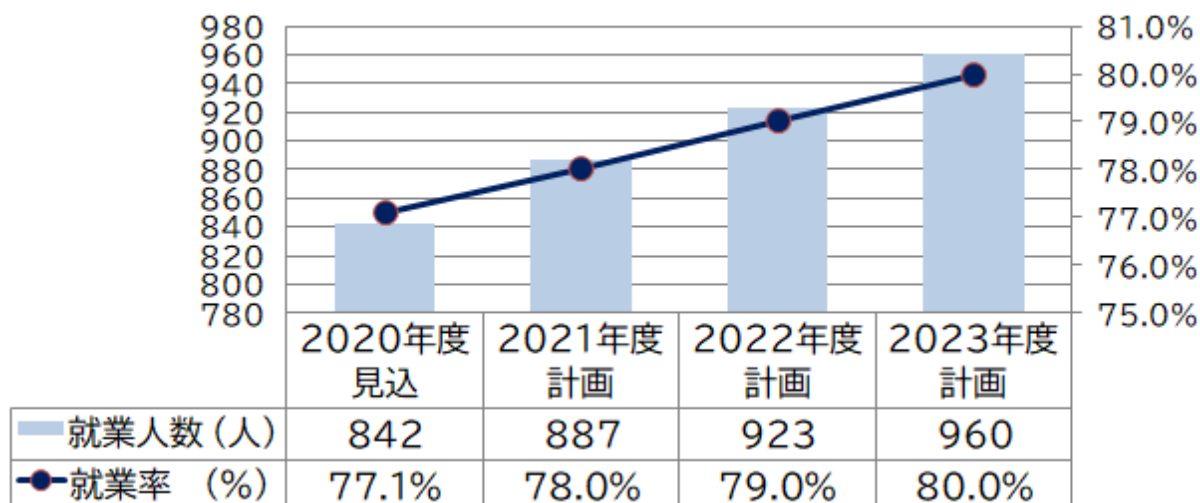


[具体的取り組み]

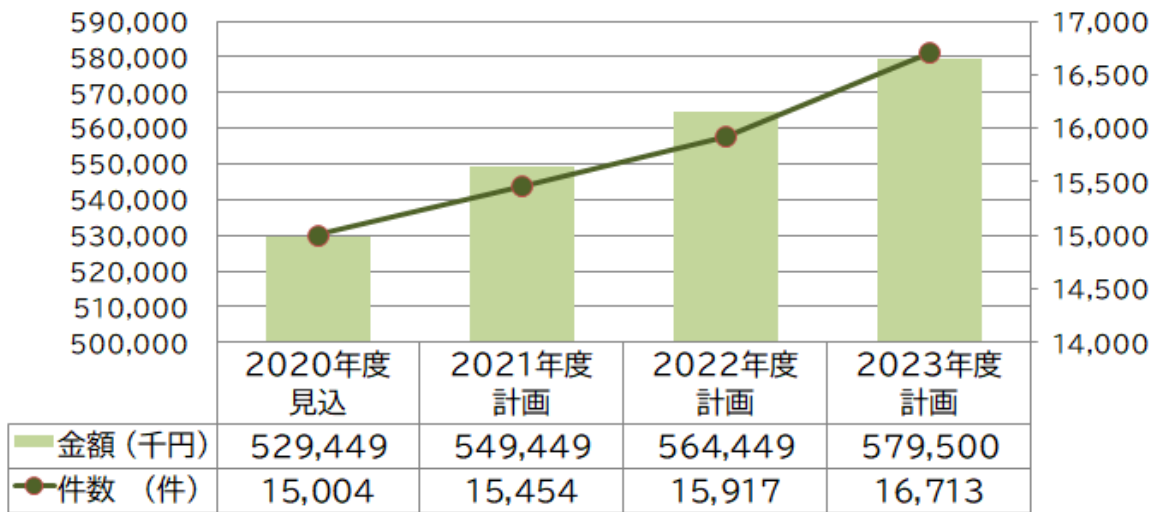
- お客様や会員からの要望を分析し、新規事業展開を検討します。
- 就業相談窓口の専担者をおき、きめ細かい個別相談に応じていきます。

[数値目標]

就業人数・就業率



受託契約金額・受注件数の目標



(2) 高齢者支援事業の拡大

超高齢化社会に対応すべく運営体制の強化をめざします。

- ① 訪問介護事業において、ヘルパーの増員、ICT化を推進することにより運営体制の強化に努めます。
- ② 福祉有償運送サービス事業において、介護認定者に限定せず、不特定多数の移動困難者を対象とした移動サービスをめざします。
- ③ 生活支援サービス事業において、更なるきめ細かな生活支援をめざします。

(3) 会員のニーズ把握

- ① 会員に対する希望職種や条件、保有する能力や資格・スキルの定期的な調査を行い、その調査結果のデータベース化を図り就業機会の拡充につなげます。

[具体的取り組み]

- ・ 定期的なアンケート等で会員情報を収集し、活用できるデータベースを整備します。
 - ・ 会員データベースの整備と事務局職員による有効活用をめざし、事務局職員を対象とした講習会を実施していきます。
- ② 希望する仕事がない・条件が合わないということで未就業となっている会員に対して、様々な施策を講じて未就業者数を減少させていきます。

[具体的取り組み]

- 機動的な実態把握に努めます。
- 相談窓口の充実・強化を図ります。
- 新たな就業先開拓に全力を挙げて取り組みます。
- 新入会員研修等で、キャリアに関わらない就労希望への意識変えを図ります。
- 就労体験を聞く会の開催を検討します。
- 求人情報を職種別に整理するなどして、就業先を探しやすくします。
- 就労待機者向けに、つなぎとしての独自事業の創出を図ります。



会員の拡大

- (1) PR用の冊子を作成し各方面に配布するなど、入会説明会開催の周知活動を強化していきます。

[具体的取り組み]

- 入会希望見込み者向けPR冊子を作成し、新規入会者を増やします。
- 入会説明会告知の大型ポスターの作成および市内各所に掲示し、周知活動を強化します。
- 就業相談・入会説明会及び新入会員研修用の共通テキストを作成し、活用を図ります。

- (2) 女性会員の入会を積極的に行い、全体に占める女性会員の比率を現行の30%から34%への引き上げをめざします。

[具体的取り組み]

- 女性にアピールできる大型ポスターを作成し掲示することで女性の入会を促進します。
- 女性の具体的な希望職種を収集し、新規開拓先職種に加えて就労先拡充を図ります。

- 女性向けの入会を勧めるパンフレットを作成し、女性会員の協力による友人・知人への配布、働きかけを行うようにします。

(3) 女性会員の意見を聞き、女性リーダーの育成を図り女性役員の登用をすすめていきます。

[具体的取り組み]

- 女性部会による地域別等の小集会などを実施し、女性の交流の場の創設と意見把握に努めます。



(4) 新入会員には、センターの概要を丁寧に説明し会員としての理解を深めるようにサポート活動を充実させていきます。

[具体的取り組み]

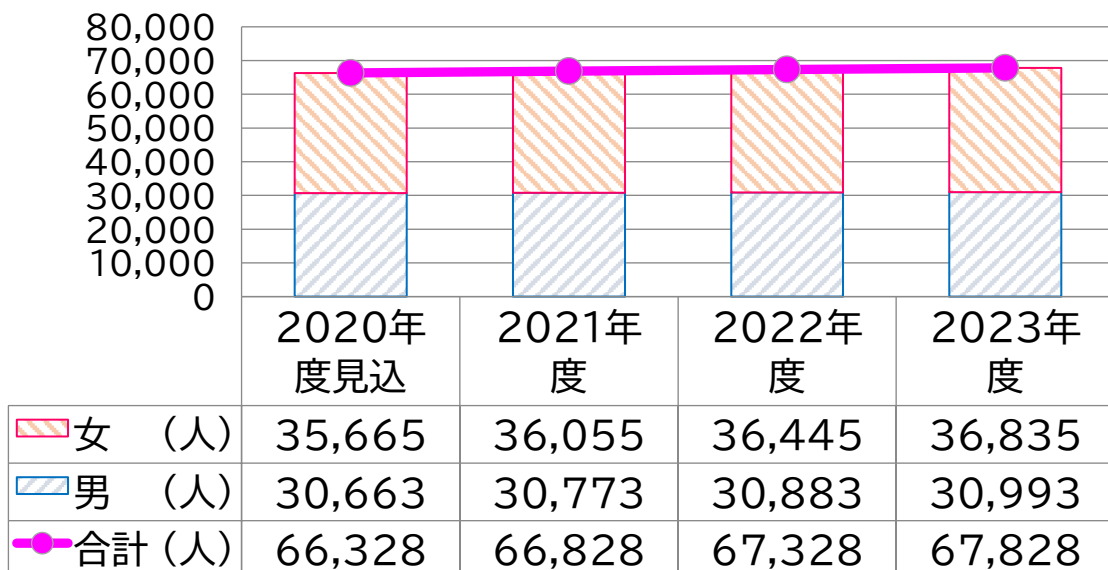
- 入会后軌道に乗れていない会員のケア・相談のため、地域班班長によるフォロー体制をめざします。



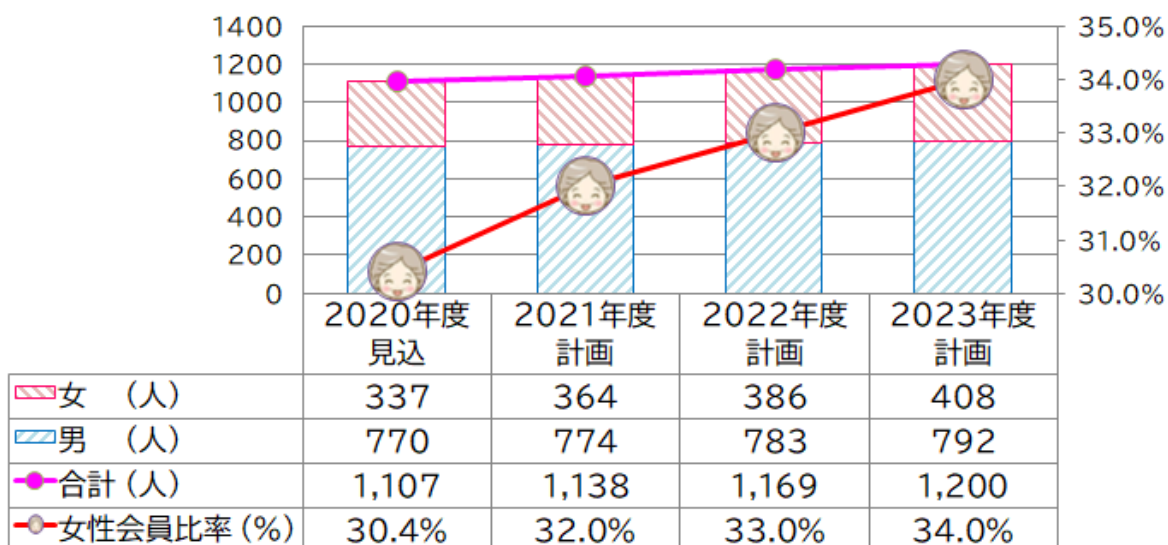
(5) 退会の申し出があった会員には、退会理由の詳細を可能な限り収集して、今後の退会抑止策につなげていきます。

[数値目標]

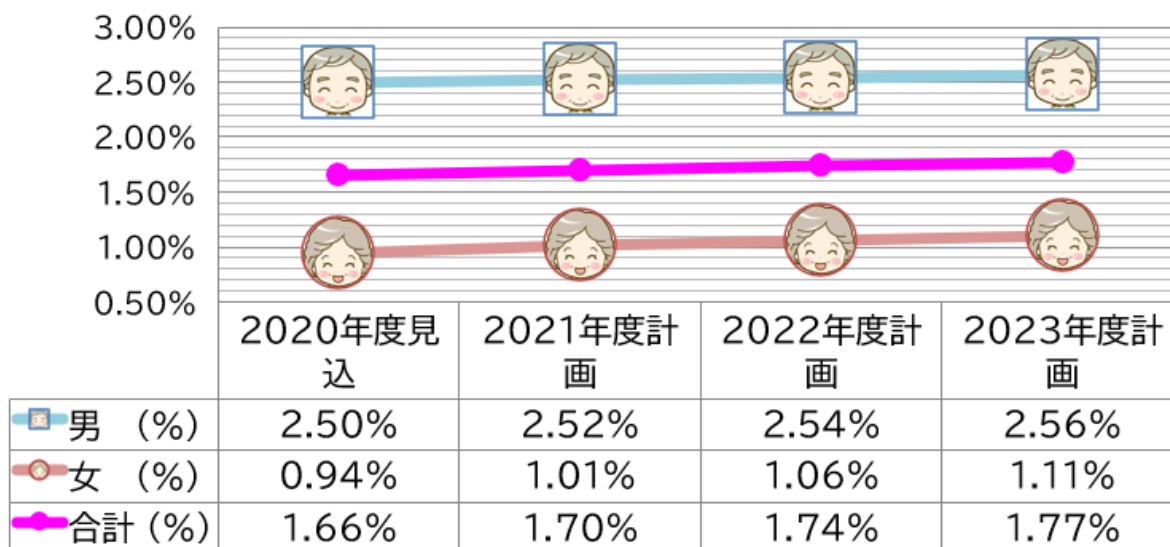
(参考)佐倉市60歳以上の予想人口



会員数の目標



粗入会率



新たな事業への挑戦

- (1) 地域ニーズの把握に努め、現役世代を支えるための子育て支援事業を立ち上げるとともに、女性ニーズの職種開拓など柱となる新たな事業の確立に挑戦していきます。



[具体的取り組み]

- ・未就学児の一時預かりなど、子育て支援事業の調査活動に取り組みます。

- (2) 新たに進出すべき事業分野の調査を積極的に行い、事業の柱となる分野の確立をめざしていきます。

[具体的取り組み]

- ・福祉有償輸送サービスと介助・家事支援・ワンコインサービスを組み合わせるなど、提供サービスの多角化をめざします。
- ・市と連携して空き家管理の事業化の取組を図ります。
- ・お客様や会員からの要望を分析して、新規事業の展開を検討します。



PR 活動の充実と組織の活性化

(1) PR 活動の充実

- ① センターの地域貢献の取り組みなどの活動内容を、市の媒体・イベント等様々なチャネルを活用して对外広報を強化するなど、センターの認知度を高める取り組みを積極的に行っていきます。
- ② 「生涯現役」をめざす高齢者に生きがい・働きがいを提供する場としてのセンターを PR することによって、センターのイメージアップにつなげていきます。

[①・②の具体的取り組み]

- ・地域メディアに対し、取材依頼を働きかけていきます。
- ・同好会の一般公開や希望者の見学・体験の機会を設けます。
- ・公共施設へのパンフレット設置依頼の取り組みを推進します。
- ・町内会回覧板への差し込み、掲示板への貼り出し依頼の取り組みを推進します。
- ・「地域に生かそうシニアのちから」等のキャッチフレーズを設定し、アピール強化を図ります。
- ・役職員等による街頭チラシの配布活動に取り組みます。



- QRコードをポスターやセンター冊子等に掲載し、センターホームページに誘引できるようにします。
- イメージアップを図るため、揃いのTシャツ・ネックチーフやユニフォーム(家事支援・公共等軽作業用)を製作し、就労時に着用するようにします。
- 友好団体会員や会員友人等への声掛けを推進します



(2) ICT化の推進

- ① 会員・顧客への情報発信窓口としてホームページの利用促進と情報伝達の迅速化を進めていきます。またホームページに会員専用サイトを開設し、求人情報等の提供を行っていきます。

[具体的取り組み]

- 情報の最新化に努めます。入力作業は多忙な事務局から切り離し会員への外注化を図ります。
- ホームページ閲覧率を高める工夫をします。
- 会員専用ページを立ち上げます。
- メールアドレス登録を推進し、保有者全員の登録をめざします。



- ② 就業処理関連事務作業の縮減による仕事の効率化と、経費の削減につなげていきます。

[具体的取り組み]

- 受注から就業報告までの情報のデジタル化を推進します。
- 就業情報や連絡に関わる情報のデジタル化を推進します。
- キャッシュレス決済への対応を図ります。
- デジタル機器活用の啓蒙を図るとともに、初心者向けサポートを推進します。
- 紙文書を見直し、できるものから計画的な紙文書の削減(ペーパーレス化)を推進します。



- 稟議書のデジタル化(電子サイン・電子署名・電子印鑑)を検討します。
- 公文書を除き、文書への押印を見直し、可能なものは廃止または自署対応とします。
- 仕事の流れを見直して、ICT化分野と手作業分野の最適な組合せで業務効率を向上させます。
- デジタル化の推進に合わせて、定期便による情報提供について簡素化・効率化をめざします。

(3) 会員参加のイベント企画実施

- ① センターとして会員参加の独自のイベントを企画し、会員同士の交流を深めるとともにセンターへの参加意識の醸成を図っていきます。

[具体的取り組み]

- 互助会と連携して、文化祭・発表会・鑑賞会・シルバーカフェなど会員が集う機会づくりをめざします。

- ② 佐倉市の様々なイベントに参加するなど、今まで以上にセンターのPRを行うとともに、センター会員と市民との交流を深め地域社会に貢献していきます。

[具体的取り組み]

- センター主導のイベントとして、レインボープラザ駐車場等でのシルバー朝市の開催を検討します

(4) 会員研修の充実

- ① 更なる顧客満足度アップに向け、接遇力向上のための研修や生活支援班におけるスキルアップのための研修を継続して実施していきます。

- ② 技能職群における後継者育成の取り組みを職群と共同で行い、技能取得者の増加を図るとともに、事業拡大のための人材層の厚い職群づくりをめざします。また技能者不足等により、これまで取り組めなかった独自事業の実施をめざした研修に取り組んでいきます。



[具体的取り組み]

- ・新入会員向け「接遇の基本と事例研修」を年3回開催します。
- ・生活支援グループ班の会員向けスキルアップのための研修を年3回行います。

安全・衛生管理の徹底と適正就業の推進

(1) 安全就業の推進

- ① 安全・適正就業基準の周知、就業に応じた安全教育の推進に努めます。



[具体的取り組み]

- ・安全・適正就業基準の周知
事務局だよりなど機関誌や職群班・地域班を通じ安全就業基準の周知徹底と安全意識の啓発向上を図っていきます。
- ・各職群班の就業に対応した安全講習会の実施を推進します。

- ② 安全管理教育の推進
事故事例の徹底検証と原因究明を徹底的に行い、ヒヤリ・ハット活動をすすめ、事故ゼロをめざして安全教育を徹底していきます。

[具体的取り組み]

- ・過去の事故発生要因や原因の解析を行い、事故ゼロを目標とした活動を推進します。
- ・ヒヤリ・ハット活動を推進します。
- ・また、事故やお客様からのクレーム情報は迅速に会員および関連部署に連絡し、安全就業の啓発とクレーム抑制を図るとともに、必要に応じ、会員への再教育や安全研修等を行います。



- ③ 安全パトロール
定期的な安全パトロールにより、安全な作業現場の確認と安全意識の向上に努めます。

[具体的取り組み]



- 定期的に安全パトロールを実施し、作業現場の安全・適正就業の確認と安全意識の高揚を図ります。

④ 安全運転の推進

車両の運転や交通誘導に携わる会員に対して、就業に
応じた安全講習会や運転手の適性検査などの施策を推進します。

[具体的取り組み]

- 車両運転職会員、就業時の往復に車を利用する会員、および高齢者会員を
対象とした「安全運転チェック」と「安全運転講習」を企画・実施します。

(2) 衛生管理の推進

健康と福祉の増進のため、健康診断の受診を奨励し、会員の健康管理を図り
ます。また、認知症予防および高齢者に生じやすい体調の変化を会員自ら認
識するように「健康管理意識」の高揚を図ります。

- ① 会員の健康維持のために、年1回以上の健康診断の受診を奨励し、健康管理
と事故防止を図っていきます。
- ② 「フレイル予防」などの健康づくりを啓発していく
とともに、認知症予防やコロナなどの感染症予防対策
にも力を入れていきます。



[具体的取り組み]

- アイデア紹介「わたしの with corona」
(生活様式・健康法等)などの機関紙への掲載を企画・実施します。

(3) 適正就業の推進

- ① 適正な就業形態の維持を図り、会員の体力や就業能力に合わせた公平な就業
機会の提供に努めます。
- ② 危険作業や指揮命令を受ける作業などの業務は、受注の取りやめや派遣就業
への移行を図ります。

財務基盤の強化

財務基盤の安定化と強化のため、事業収益の回復と経費の一層の削減を図ります。

(1) 年間契約取引先の拡大やより収益性の高い業務に取り組み、事業収益の安定化と強化を図っていきます。

①事業収益の回復・増強をめざし、年間契約取引先の拡大を図ります。

②就業開拓強化による新規開拓を重点に取り組み、既存先に対しては、求人対応を引き続きしっかり行っていきます。

(2) 経営効率化による経費削減や ICT 化による事務の効率化を図り、コスト削減を推し進めていきます。

① 健全な財務状況を維持するため、ICT を活用し事務の効率化を含めた経営の効率化を進めます。

② また、費用の削減・抑制、無駄の排除等経費の削減に努めます。



(3) 2023 年から開始されるインボイス制度導入には、適切に対応していきます。

① 2023 年 10 月に実施されるインボイス制度について、正しい理解と対応に努めます。

② 千葉県シルバー人材センター連合会との連携を密にし、情報の入手、体制の構築に着手します。

用語の解説

1. PDCA サイクル	業務プロセスなどを管理・改善する手法の一つで、計画(Plan)▶実行(Do)▶評価(Check)▶改善(Act)という4段階の活動を繰り返し行なうことで、継続的にプロセスを改善・最適化していく手法。
2. ICT (情報通信技術)	Information and Communications Technologyの略語で、IT(情報技術)に通信・伝達が加わった言葉です。 単にコンピューターによる情報処理にとどまらず、インターネットのような通信技術を活用した情報や知識の共有を重要視しています。
3. フレイル	高齢者は、健常な状態から要介護状態になるまでに「フレイル(虚弱状態)」という中間的な段階を経ていると考えられます。
4. ヒヤリ・ハット	重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例の認知をいう。文字通り、「突発的な事象やミスにヒヤリとしたり、ハットとしたりするもの」です。
5. インボイス制度	2019年10月、消費税増税が施行されましたが、それと同時に「適格請求書等保存方式」インボイス方式(制度)※が導入されました。制度の開始は2023年で、シルバー事業所(消費税納税義務者)、会員(現在免税事業者)、お客様(消費税支払い者)に影響が予想されます。 ※売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるものです。具体的には、現行の「区分記載請求書」に「登録番号」「適用税率」および「消費税額等」の記載が追加された書類やデータをいいます。それが個人事業主にも適用されることとなります。 現在全シ協でインボイス制度に対する検討を進めております。

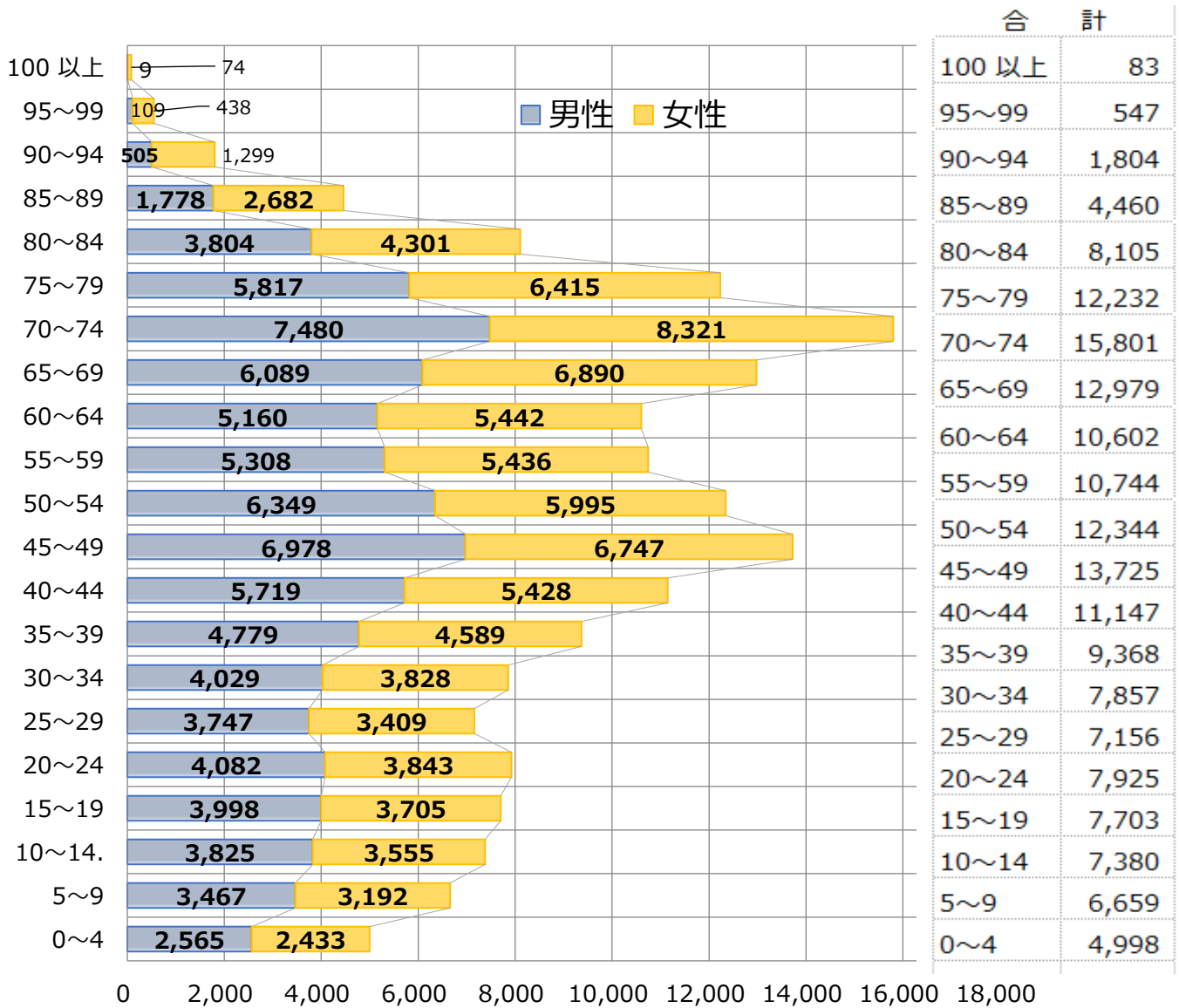
参考資料

	ページ
1. 佐倉市の年齢別人口分布 -----	17
2. 佐倉市の人口推移 -----	18
3. 地区別 人口推移 -----	18
4. 会員数の推移 -----	19
5. 受注金額（公共・民間）の推移 -----	19
6. 地区別人口 -----	20
7. 地区別 会員数・粗入会率 -----	20
8. 佐倉市 年齢別人口 -----	21
9. 年齢別 会員数 -----	21
10. 受注金額・件数の推移 -----	22
11. 就業人員・年間就業率の推移 -----	22
12. 傷害・賠償事故発生件数の推移 -----	23
13. 傷害・賠償事故の内容 -----	23

※参考資料中、佐倉市の人口データは佐倉市のホームページ『人口』からの抜粋です。

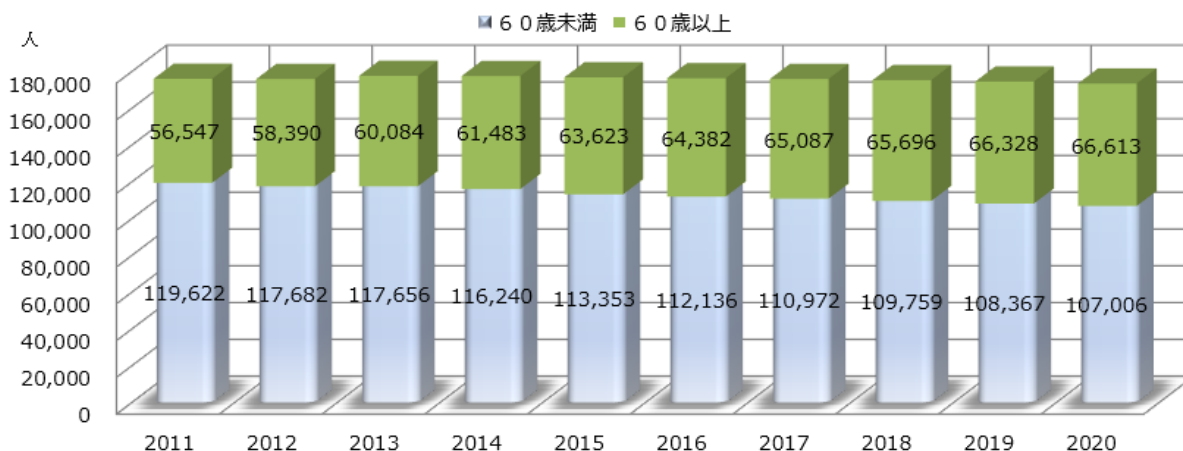
1 佐倉市の人口分布

2020（令和2）年12月末



年齢	男性	女性	合計	年齢	男性	女性	合計	年齢	男性	女性	合計
0～4	2,565	2,433	4,998	35～39	4,779	4,589	9,368	70～74	7,480	8,321	15,801
5～9	3,467	3,192	6,659	40～44	5,719	5,428	11,147	75～79	5,817	6,415	12,232
10～14	3,825	3,555	7,380	45～49	6,978	6,747	13,725	80～84	3,804	4,301	8,105
15～19	3,998	3,705	7,703	50～54	6,349	5,995	12,344	85～89	1,778	2,682	4,460
20～24	4,082	3,843	7,925	55～59	5,308	5,436	10,744	90～94	505	1,299	1,804
25～29	3,747	3,409	7,156	60～64	5,160	5,442	10,602	95～99	109	438	547
30～34	4,029	3,828	7,857	65～69	6,089	6,890	12,979	100以上	9	74	83
市の人口は2020(令和2)年12月末現在								総計	85,597	88,022	173,619

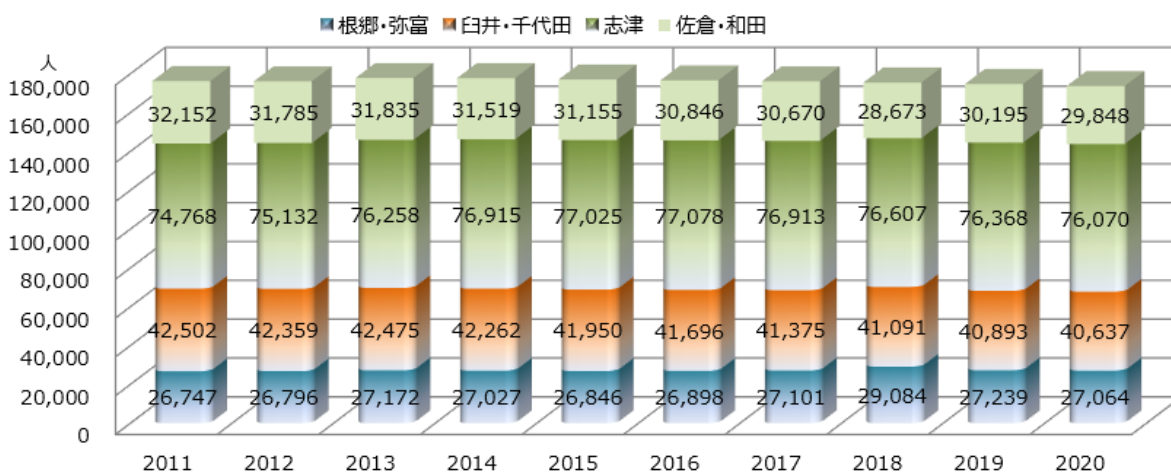
2 佐倉市の人口推移



年度	2011年 平成23年	2012年 平成24年	2013年 平成25年	2014年 平成26年	2015年 平成27年	2016年 平成28年	2017年 平成29年	2018年 平成30年	2019年 令和元年	2020年 令和2年
総人口	176,169	176,072	177,740	177,723	176,976	176,518	176,059	175,455	174,695	173,619
60歳以上	56,547	58,390	60,084	61,483	63,623	64,382	65,087	65,696	66,328	66,613
60歳未満	119,622	117,682	117,656	116,240	113,353	112,136	110,972	109,759	108,367	107,006

2020（令和2）年は12月末現在

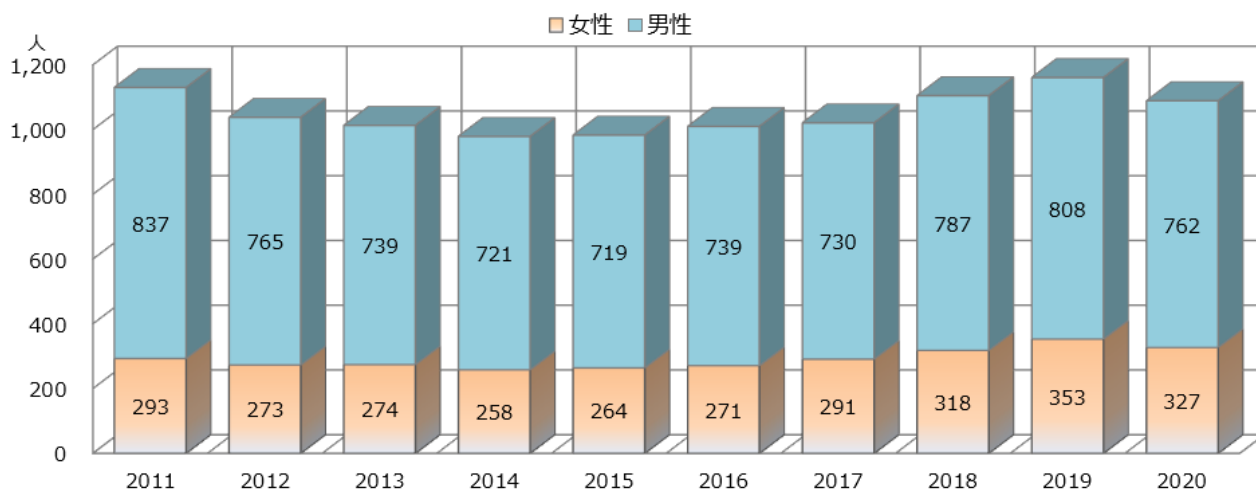
3 地区別 人口推移



年度	2011年 平成23年	2012年 平成24年	2013年 平成25年	2014年 平成26年	2015年 平成27年	2016年 平成28年	2017年 平成29年	2018年 平成30年	2019年 令和元年	2020年 令和2年
総人口	176,169	176,072	177,740	177,723	176,976	176,518	176,059	175,455	174,695	173,619
佐倉・和田	32,152	31,785	31,835	31,519	31,155	30,846	30,670	28,673	30,195	29,848
志津	74,768	75,132	76,258	76,915	77,025	77,078	76,913	76,607	76,368	76,070
白井・千代田	42,502	42,359	42,475	42,262	41,950	41,696	41,375	41,091	40,893	40,637
根郷・弥富	26,747	26,796	27,172	27,027	26,846	26,898	27,101	29,084	27,239	27,064

2020（令和2）年は12月末現在

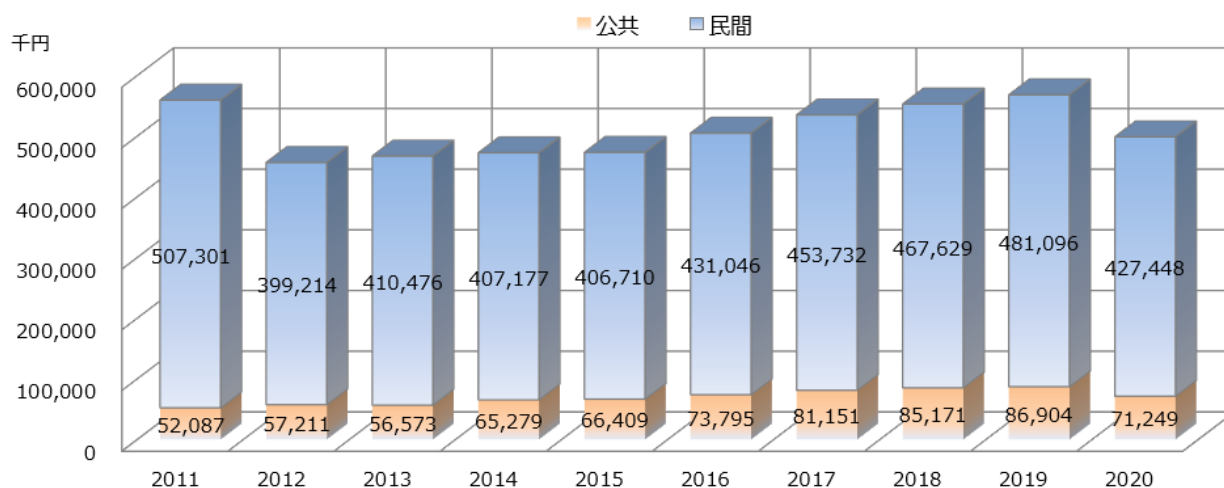
4 会員数の推移



年度	2011年 平成23年	2012年 平成24年	2013年 平成25年	2014年 平成26年	2015年 平成27年	2016年 平成28年	2017年 平成29年	2018年 平成30年	2019年 令和元年	2020年 令和2年
総数	1,130	1,038	1,013	979	983	1,010	1,021	1,105	1,161	1,089
男性	837	765	739	721	719	739	730	787	808	762
女性	293	273	274	258	264	271	291	318	353	327

2020（令和2）年度は2021(令和3)年2月末現在(2月退会者を含む)

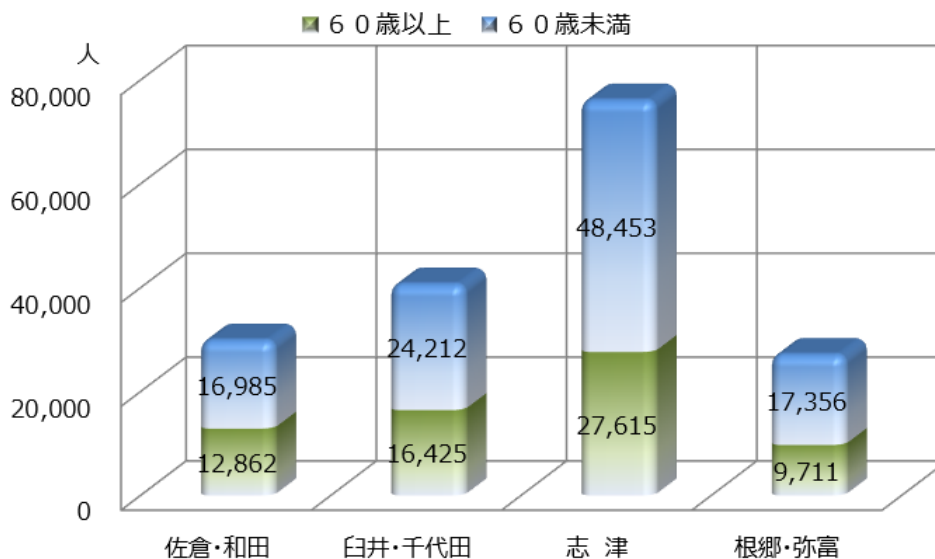
5 受注金額（公共・民間）の推移



年度	2011年 平成23年	2012年 平成24年	2013年 平成25年	2014年 平成26年	2015年 平成27年	2016年 平成28年	2017年 平成29年	2018年 平成30年	2019年 令和元年	2020年 令和2年
総額	559,388	456,425	467,049	472,456	473,119	504,841	534,883	552,800	568,000	498,697
民間	507,301	399,214	410,476	407,177	406,710	431,046	453,732	467,629	481,096	427,448
公共	52,087	57,211	56,573	65,279	66,409	73,795	81,151	85,171	86,904	71,249

2020（令和2）年度は推定数値

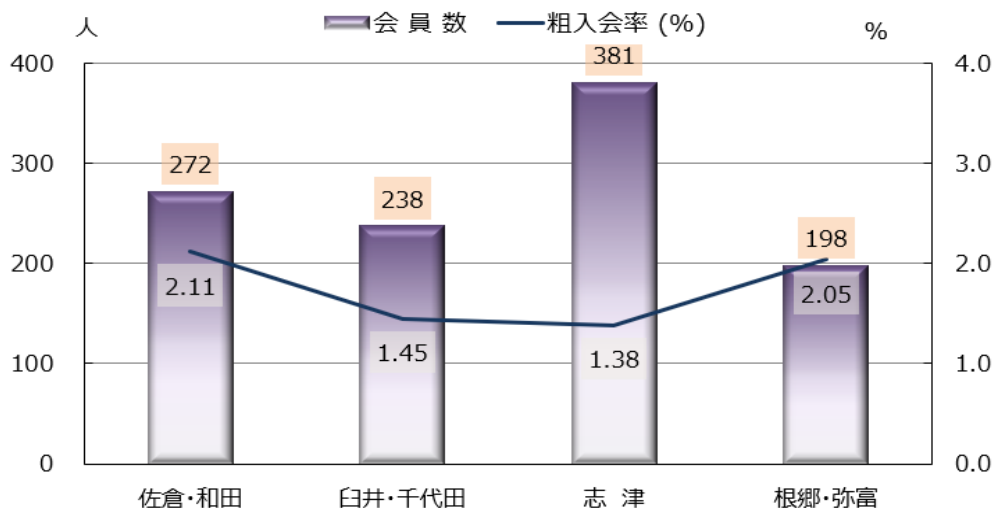
6 地区別人口（2020年12月）



地区	佐倉・和田	白井・千代田	志津	根郷・弥富	合計
総数	29,847	40,637	76,068	27,067	173,619
60歳未満	16,985	24,212	48,453	17,356	107,006
60歳以上	12,862	16,425	27,615	9,711	66,613
高齢者率	43.1	40.4	36.3	35.9	38.4

市の人口は2020(令和2)年12月末現在

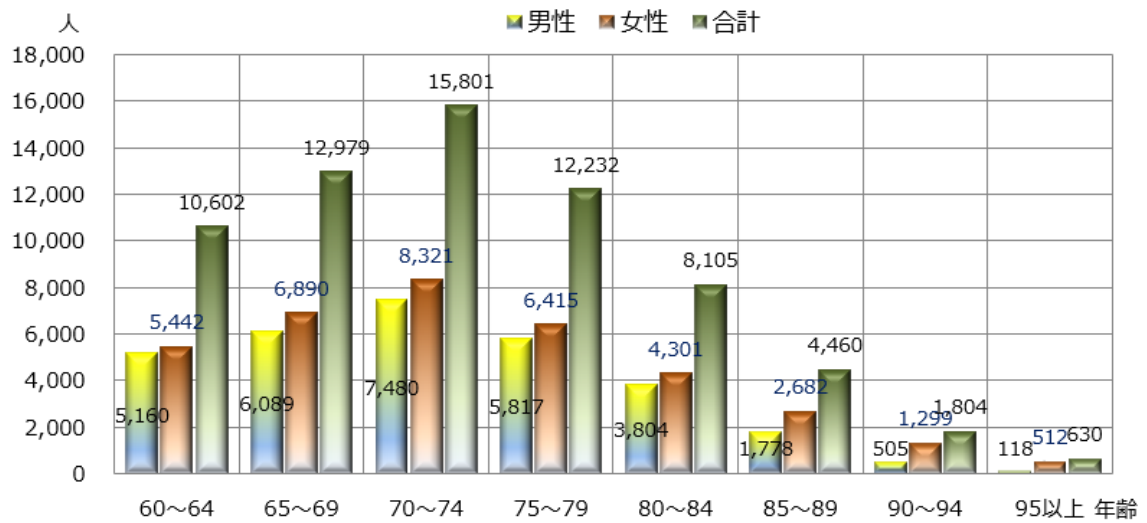
7 地区別 会員数・粗入会率（2020年12月）



地区	佐倉・和田	白井・千代田	志津	根郷・弥富	合計
60歳以上の人口	12,862	16,425	27,615	9,711	66,613
会員数	272	238	381	198	1,089
粗入会率 (%)	2.11	1.45	1.38	2.04	1.63

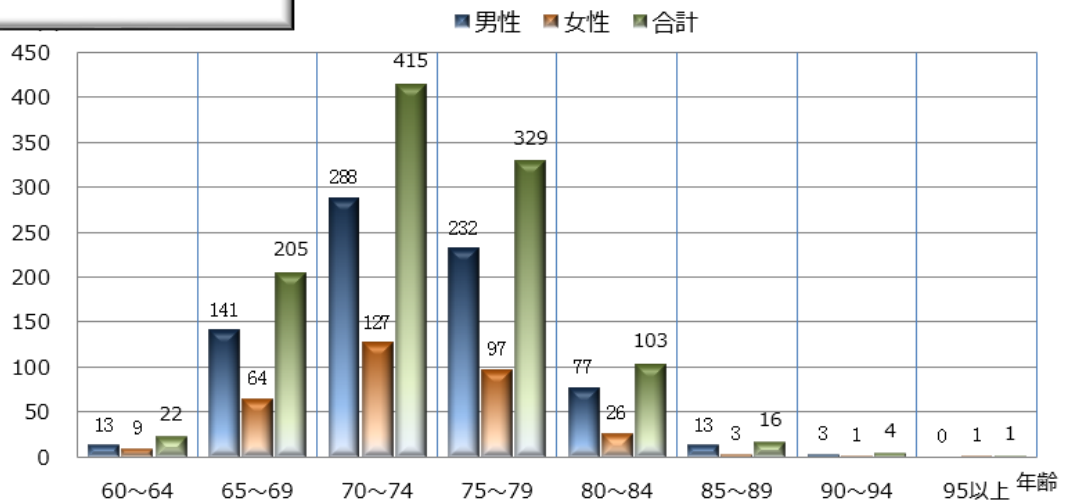
市の人口は2020(令和2)年12月末現在
会員は2021(令和3)年2月末現在

8 佐倉市 年齢別人口



年齢	男性	女性	合計	年齢	男性	女性	合計
60~64	5,160	5,442	10,602	80~84	3,804	4,301	8,105
65~69	6,089	6,890	12,979	85~89	1,778	2,682	4,460
70~74	7,480	8,321	15,801	90~94	505	1,299	1,804
75~79	5,817	6,415	12,232	95以上	118	512	630
合計	30,751	35,862	66,613				

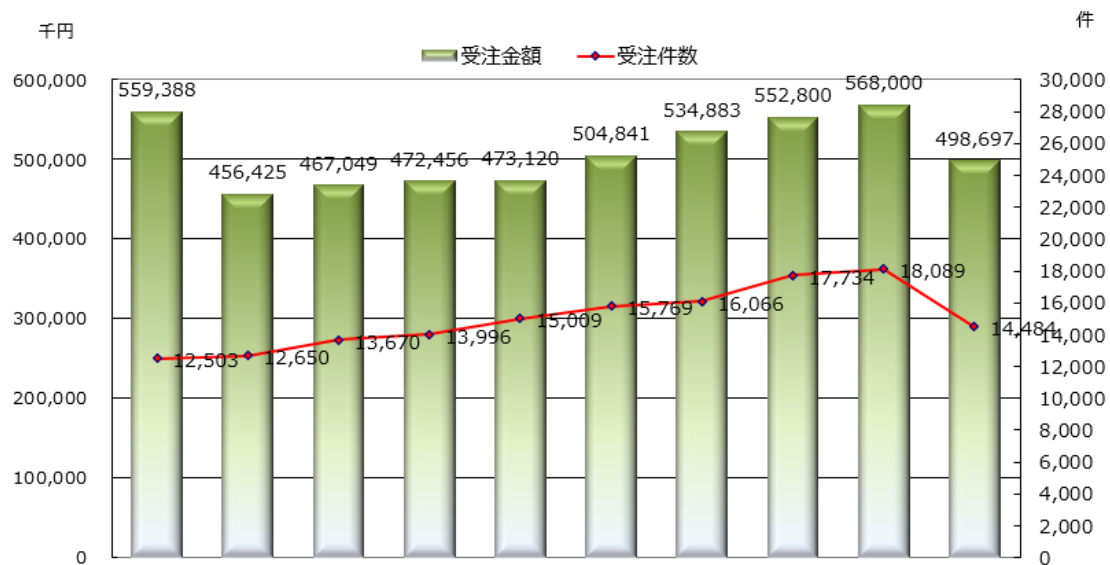
9 年齢別会員数



年齢	男性	女性	合計	年齢	男性	女性	合計
60~64	12	7	19	80~84	83	29	112
65~69	138	65	203	85~89	14	4	18
70~74	290	125	415	90~94	3	1	4
75~79	222	95	317	95以上	0	1	1
合計	762	327	1,089				

会員は2021(令和3)年2月末現在

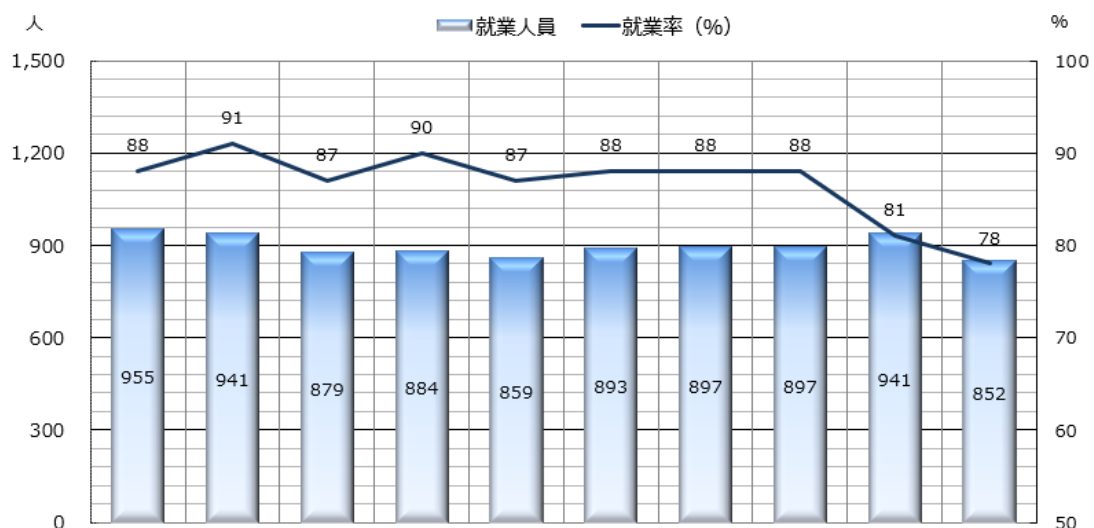
10 受注金額・件数の推移



年度	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
受注金額	559,388	456,425	467,049	472,456	473,120	504,841	534,883	552,800	568,000	498,697
受注件数	12,503	12,650	13,670	13,996	15,009	15,769	16,066	17,734	18,089	14,484

2020 (令和2) 年度は推定数値

11 就業人員・就業率の推移



年度	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
就業人員	955	941	879	884	859	893	897	897	941	852
就業率 (%)	88	91	87	90	87	88	88	88	81	78

2020 (令和2) 年度は推定数値

1 2 傷害・賠償事故 発生件数の推移



年 度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	計
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
事故件数	8	8	10	13	21	28	16	104
人身事故	3	3	5	5	8	14	7	45
物損事故	5	5	5	8	13	14	9	59

2020(令和2)年は、12月までの実績

1 3 傷害・賠償事故内容

【人身事故】

年 度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	計
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
作業中転倒負傷	1	1	1	4	5	6	3	21
作業中道具で負傷			1			2	2	5
就業行帰時の交通事故	1	1	2			1		5
蜂さされ	1	1		1	2	1	1	7
その他			1		1	4	1	7

【物損事故】

年 度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	計
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
草刈時石飛ばし破損	1	2	1		2	3	3	12
草刈時配線(管)切断	1	1	1		1	1	3	8
草刈時接触物損	1				2	1		4
枝などの落下による損傷	1	1				2	1	5
車両での接触物損				2	3	1	1	7
その他	1	1	3	6	5	6	1	23

中期計画書

2021(令和3)年3月

編集発行

公益社団法人 佐倉市シルバー人材センター
企画委員会

〒285-0025

千葉県佐倉市鎗木町 198-2

レインボープラザ 2F

TEL 043-486-5482

FAX 043-486-5419

<http://www.sakura-sjc.or.jp>